

国民平和大行進 和歌山→広島コース

5月26日(日) 田辺市庁舎前

出発集会 13:30～



木村田辺副市長



前田佳世
議員歌唱指導



5月26日の日曜日曇り。田辺市の平和行進です。田辺市原水協津村さんが、最初に米国の未臨界実験に対して抗議を表明。出発集会が始まりました。まず地元代表として和教組松葉さんよりあいさつ。続いて、木村晃和副市長より真砂市長メッセージが読み上げます。「核兵器を減らして、新の平和を実現しなくてはならない」とのメッセージを頂きました。又市長からは、協賛金とペナントをいただきました。続いて前田佳世市議が議長メッセージ代読と連帯挨拶をおこないます。前田市議は、第29回南方熊楠賞受賞した馬渡俊介北海道大学名誉教授の言葉を紹介し、「私はこの言葉に核兵器を重ね、核は地球上の生き物の運命を狂わせる。そのことをヒトとして考え行動することで、子どもたちに平和で安心して暮らせる未来を手渡したい、と強く思いました」と発言しました。決意表明は、市民生協の溝口佳奈さんと健交労の庄司さんがおこないます。最後に、前田佳世さんの歌唱指導で「青い空は」を歌います。集会を閉じて平和行進がスタートしました。子どもたちには風船が配られました。集会参加者は46人でした。ヒバクシャ「国際署名」は17筆。募金は7,608円でした。

今日は、白浜町の平和行進です。